

KENZO ESTATE Wine Fair

ケンゾー エステイト ワインフェア

2025.12.1(Mon)～2026.2.28(Sat)



妥協を許さない職人の美学が最上の葡萄を生み出す

最高のワインをつくれるかどうか、

その成否を何よりも分かつのが、良質な葡萄を得られるかどうかでしょう。

ゆえにケンゾーエステートのこだわりが最も現れているのが、

最高の葡萄を実らせるべく完璧な管理が施された葡萄畠なのです。

470万坪という広大な敷地を持ち、その中でも葡萄園が占めるのは、

葡萄栽培のために厳選されたわずか2%の土地のみです。

敷地の大半は、鹿、兎、七面鳥といった野生動物が息づく、手つかずの大自然が広がります。

ゲートをくぐり、広大な森を抜け葡萄園に辿り着くまで、その距離およそ2キロメートル。

ワイナリーを取り巻く緑豊かな森や湖が、車の排気ガスや町での排水などから畠を隔絶しています。

葡萄畠を守るために、敷地の大半を手つかずの自然のまま残すこと、

それは簡単に真似することのできないことであり、ケンゾーエステートの最大のこだわりでもあります。



結 yui ロゼワイン

Glass/グラス 2,700(税込2,970)

Bottle/ボトル [通常価格] 21,000(税込23,100) ▶ [特別価格] 17,000(税込18,700)

[生産量がわずかな希少なロゼワイン]

気品に満ちたローズピンクが美しく、チェリーや木苺の香りを放ち、清涼感のあるドライな味わいが魅力の逸品です。

人と人を結び、心と心を繋ぐ、そんな相互扶助の精神を宿すその名は、ケンゾーエステートの葡萄作りを支える人々の絆を表しています。



紫鈴 rindo 赤ワイン

Glass/グラス 4,000(税込4,400)

Bottle/ボトル [通常価格] 35,000(税込38,500) ▶ [特別価格] 28,000(税込30,800)

[深みとしなやかさを併せ持つ繊細な赤ワイン]

紫は高貴なものを示す色。ここでは上質な葡萄を象徴します。鈴は鈴なり。

つまり、紫鈴とは、上質な葡萄が畠一面に実るケンゾーエステートそのものを表す、フラッグシップワインの名に相応しい言葉です。

それは藍紫色の釣鐘を吊るす可憐な竜胆の花にも似て、しなやかでたおやかな魅力を秘めています。



あさつゆ asatsuyu 白ワイン

Bottle/ボトル [通常価格] 27,000(税込29,700) ▶ [特別価格] 22,000(税込24,200)

[清涼感と芳醇さを併せ持つ唯一無二の白ワイン]

夜明け前に畠に降りた朝靄が葡萄の葉に残した朝露は、朝日を浴び、美しく煌めく。

そんな透明感を持つケンゾーエステート唯一の白ワインは、ハイディ・バレットが手掛けた初のソーヴィニヨン・ブラン。

清涼感と芳醇さを併せ持ち、全米でのベスト・オブ・ソーヴィニヨン・ブランにも選ばれています。



明日香 asuka 赤ワイン

Bottle/ボトル [通常価格] 46,000(税込50,600) ▶ [特別価格] 37,000(税込40,700)

[上質な果実の香りが開花する芳醇な赤ワイン]

天候に恵まれ、秀逸なカベルネ・フランを豊富に収穫できた2009年に、この赤ワインは誕生しました。

明日に香るという名は、まさに風味豊かなカベルネ・フランの特徴を言い得ています。

また、明日香とは、清浄な地、神聖な場所という意味を含み持ち、この葡萄の上質感や純粹さを例えてもいます。



深穏 shinon 赤ワイン

Bottle/ボトル [通常価格] 60,000(税込66,000) ▶ [特別価格] 52,000(税込57,200)

[2017ヴィンテージ限定で、ただ一度、日本だけでリリースされた特別なワイン]

グラスに注ぐとブラックベリーやケッパー、シナモンなどの香りが立ち上がり、

きめ細かいタンニンが柔らかくなめらかで、深みのある官能的な味わいをもたらしています。



藍 ai 赤ワイン

Bottle/ボトル [通常価格] 75,000(税込82,500) ▶ [特別価格] 60,000(税込66,000)

[純粹な葡萄の魅力が頂点で花開く珠玉の名品]

藍染めの色は、紫に比べ、より深く、鮮やかな印象をもたらします。

カベルネ・ソーヴィニヨン主体のこのワインも、純度の高い葡萄の凝縮感を鮮烈に感じ取れる逸品。

洗うほどに色が冴え、歳月を重ねる度に色が変化する藍染めにも似て、長期熟成により、まろやかに変化する繊細な表情が秘められています。



紫 murasaki 赤ワイン

Bottle/ボトル [通常価格] 75,000(税込82,500) ▶ [特別価格] 60,000(税込66,000)

[高貴さと優雅さを表す上級ボルドーブレンド]

高貴なる色、紫。その名を冠するのは、複数の葡萄品種がより優雅なハーモニーを奏でる上級キュベの証。

自らを紫屋と称した江戸の浮世絵師、歌麿がこだわっていた紫の色使いにも藤色から小豆色まで多彩な表情があったように、

微妙に変化する香りや繊細な味わいにこそ、このワインの美德があります。